

森あや子 ニュース

発行:福岡市議会議員 森あや子
〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階
TEL.092-662-5077 / FAX.092-662-5097
<http://ayako966.blog.fc2.com/>

Ayako Mori News



2016
春夏
号

福岡市
2016年度
予算

①2015年税収は過去最高～なお厳しい財政状況～

2015年度は人口増によって市民税が増え、企業収益の改善によって法人市民税も増加。過去最高の税収となりました。2016年も引き続き税収が増える見通しで予算を組んでいますが、借金の残高は2兆3882億円(2016年度末)、市民一人あたり158万円と、政令市では大阪市に次いで2番目の多さです。福祉や医療への支出増に加え、道路や橋、上下水道、公共施設の更新など将来的に費用がかかるため、依然厳しい財政状況が続いている。

②安倍政権の“人気取り施策”、 福岡市にも影響!?

7月の参議院選挙を前に安倍政権は「成長の果実を国民に」として“人気取り”的な施策を行っています。それに呼応するように高島市長も「成長の果実を市民に」と予算を編成。就学前児童の教育・保育給付金46億円増、障がい児施設給付金11億円増など必要な施策もありますが、年金生活者等支援臨時交付金として低収入年金受給者対象に一人3万円を交付するという“バラマキ”施策もあります。これらは国の交付金があるからできる施策であって、福岡市自身が“開発優先”的な政策を改めて、市民生活優先の予算にしようという考えがないのは問題です。

③満足度50%以下 ～子育て・教育・福祉・雇用～

「市政に関する意識調査」によると自然環境や買い物の利便性、食などでは満足度は高い数値が出ている一方、子育てや教育、福祉、雇用についての満足度は50%程度ないし50%以下と低くなっています。高島市長は都市高速の延伸やウォーターフロント開発など、開発優先の“都市膨張”政策を続けていますが、経済成長すればやがて市民にもそのおこぼれが回り生活がよくなるという発想ではなく、市民の生活に直結する施策に重点をおくべきです。

内ページにつづく

アンケートにご協力ください。

いただいたご意見は議会活動のなかで参考にさせていただきます。

あてはまるものに「○印」をつけてください。

Q1. 議員に望むことは何ですか？

- ① 市政のチェック ② 政策の提案 ③ 市民の声を議会に届ける
④ 生活相談 ⑤ その他 ()

Q2. 自治体の議会を身近に感じられないのはなぜですか？

- ① いつ議会が開かれているのか分からない (複数回答可)
② 僮聴に行くことがない
③ 何が話し合われているのか分からない
④ 議員間の討論がない
⑤ 議会では何も変わらないと思う(行政の追認しかしないから)
⑥ 自治体議会よりも国会のほうが重要だと思う
⑦ 知っている議員がいない
⑧ その他 ()

Q3. 議員報酬(年間1400万円以上)についてどう思いますか？

- ① 高すぎる・減らすべき
② 今の仕事ぶりなら高すぎる・しっかり仕事をすれば妥当
③ 少なすぎる・増やすべき

Q4. 議員定数(62人)についてどう考えますか？

- ① 多すぎる ② 妥当 ③ 少なすぎる

Q5. いまの福岡市政で問題だと思うのは何ですか？(自由記述)

()